

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月13日			
平成15年度	事業コード	13110	電話	042-769-8341
担当部課名	保健福祉部	保育	課	管理 係
事務事業名	コミュニティ保育促進事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	子育て環境づくりの推進	63以前年度
施策名	第2施策	子育て支援の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市コミュニティ保育促進事業補助金交付要綱 相模原市補助金等に係る予算の執行に関する規則（昭和45年相模原市規則第23号）
--

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

あり

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
家庭で乳幼児を養育している保護者の育児不安や孤立感などの解消手段の一つとして、地域において、こうした親子のグループ化を図るとともに、グループでの保育を通して育児知識を高めるコミュニティ保育活動を促進し、活動費の一部として補助金を交付する。また、園庭開放などを通じて地域の保護者に情報提供を行い、より多くのグループ化を推進する。	コミュニティ保育活動参加者（小学校就学前の乳幼児） 対象数 グループ加入1299人 他個人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
地域担当者会議の開催1回、グループ研修会の開催（北部3回、南部2回）、コミュニティ保育グループ紹介冊子の製作、新規グループの募集（広報）・認定、補助金の交付決定（5,766千円）、グループとの交流（地域担当）週1回、園庭開放、コミュニティ保育活動を行うグループの活動費の一部を助成する。 地域の保育所において育児相談や技術的な指導・助言を行う。グループの保育内容の充実を図るため、リーダーを対象とした研修を行う。	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	新世紀さがみはらプラン
計画年次	14年度～17年度
	在宅養育乳幼児の1割をグループ化又は個人参加型の保育支援推進（2,000人）

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移（年度）				
				12	13	14	15	16
活動指標	コミュニティ保育グループ加入者目標達成率	コミュニティ保育グループ加入者数/2,000×100	新世紀さがみはらプランに対する取り組みで計画達成を表す	57	63	65	70	80

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	項目	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算（見込み）
	決算（予算）額	4,972	5,614	5,765	5,543	5,543
	人員・時間数	55	55	56	56	56
	人件費	755	755	755	755	755
	その他経費					
	合計	5,727	6,369	6,520	6,298	6,298
	特定財源					
	対象数	1,139	1,250	1,299		
	対象の単位あたり経費	5.0	5.1	5.0	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	活動指標は昨年比2パーセント伸びた。毎年コミュニティ保育活動人数が増加傾向にあるため、達成しているといえる。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 子どもの健やかな成長に資する環境づくりの一環として、地域で孤立感を抱く親子にふれあいの場を提供するものであるため、今後も当該事業の必要性は高い。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	地域における育児支援機能の低下を補っている。
(4)効率性 評価 A ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 各グループにおいては、市から交付される補助金を活用し自分達のニーズに合った内容を選択して保育活動を実施しているため、効率的な運用が行われている。
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	グループ化する者に対して、交付要綱に基づき平等に補助金を支給している。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 保育所に活動場所を確保することにより2,000人参加にむけて達成率を高めることが可能である。	手段	相模原市コミュニティ保育促進事業補助金交付要綱の改正により、14年度から15年度にかけて1人あたりの補助金額2,000円 1,600円、1グループあたりの補助金額50,000円 40,000円にすることが可能である。
		削減額	100 千円

11 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 昭和55年に開始した当該事業は内容の充実とともに拡大を続けてきたが、グループ等に加わることができず孤立化してしまう親子をサポートするなど、多様化する保育ニーズに対応するため保育環境の更なる整備・充実を図り、地域における子育て支援を推進していくことが重要である。目標数値の達成を念頭に、今後も引き続きの取り組みが必要である。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--